

令和6年2月6日
世田谷保健所
感染症対策課

令和6年度の予防接種事業について

令和6年度より実施予定の予防接種事業について下記のとおり報告する。

1 高齢者肺炎球菌予防接種の制度変更について

(1) 主旨

高齢者の肺炎球菌予防接種は、予防接種法に基づく定期接種として、対象者は65歳であるところ、平成26年度から令和5年度までの10年間は、経過措置として65歳から100歳までの5歳刻みの年齢を定期接種対象としていた。今般、国から、10年間の経過措置により65歳以上の世代にも十分な接種機会を提供し、接種率も65歳と同等程度となったことから、経過措置を予定通り終了する方針が示された。

そこで、事業概要と区の対応について報告する。

(2) 事業概要

- ① 開始時期 令和6年4月1日
- ② 対象者等 該当年度に65歳になる方に1回接種
- ③ 自己負担額 調整中
- ④ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種
- ⑤ 周知方法 区のおしらせ、区ホームページ等による周知のほか、令和6年度の対象者には順次予診票を個別送付する。
- ⑥ 予算(案) 21,109千円

(3) その他

今般、東京都より、令和6年度予算案にて定期接種（上記）及び任意接種（満66歳以上の未接種者の方）に関して新たな補助事業が示された。そのため、区は補助事業の活用について検討していく。

2 おたふくかぜワクチン費用助成の実施

(1) 主旨

おたふくかぜは、流行性耳下腺炎ともよばれ、ムンプスウイルスによって発熱や耳下腺の腫れ、痛み等を引き起こす感染症であり、特に3～6歳の小児の発症が多く、合併症として聴力障害が知られている。特別な治療法がなく、予防接種が有効である。

おたふくかぜの発症予防を目的として、予防接種の一部費用助成を令和6年度中に実施する。

(2) 事業概要

- ① 開始時期 令和6年7月1日
- ② 対象者 1歳～小学校就学前の子
※基本的な接種時期は、1歳と小学校就学前の2回
- ③ 費用助成 一人につき2回まで 3,000円/回
- ④ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種
- ⑤ 周知方法 区のおしらせ、区ホームページ、ポスター掲示等による周知のほか、麻しん風しん定期接種の個別勧奨通知に案内を同封する。
- ⑥ 予算(案) 65,279千円
※特定財源 31,992千円(東京都補助金)

3 帯状疱疹ワクチン費用助成の対象者拡大

(1) 主旨

これまで帯状疱疹ワクチンは、生ワクチン、不活化ワクチンともに50歳以上の者が接種対象であったが、免疫機能が低下しているなど、帯状疱疹の発症リスクの高い18歳以上50歳未満の者も、新たに不活化ワクチンを接種できることとなった。

そこで区は、疾病又は治療により免疫不全又は免疫機能が低下した発症リスクの高い者を助成対象に追加し、区内指定医療機関に加え、かかりつけ医の在籍する区外医療機関での一部費用助成を実施する。

(2) 事業概要

- ① 開始時期 令和6年4月1日
- ② 対象者 満18歳以上50歳未満の者で、疾病または治療により免疫不全又は免疫機能が低下した発症リスクの高い者
- ③ 費用助成 不活化ワクチン 2回 10,000円/回
- ④ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種、または区外医療機関での個別接種(償還払い)
- ⑤ 周知方法 区のおしらせ、区ホームページ、ポスター掲示等により周知する。
- ⑥ 予算(案) 460千円

4 麻しん風しん任意予防接種の対象者拡大

(1) 主旨

麻しんと風しんは2回の予防接種で発症を予防できる感染症であり、定期接種の機会を逃した小学1年生までを対象に、全額公費負担による任意接種の助成を実施してきた。その一方で、区の麻しん風しん予防接種第2期(年長相当の年齢が対象)の接種率は約90%と国の特定感染症で、予防指針で示されている目標値の95%を下回る状況が続いている。そこで、対象者を18歳以下に拡大し、麻しん風しん予防接種の確実な2回接種を推進する。

(2) 事業概要

- ① 開始時期 令和6年4月1日
 ② 対象者 接種日時点で世田谷区に住民登録があり、以下(ア)または(イ)に該当する者

(ア) 第1期：2歳から定期接種第2期の対象期間に至るまでの年齢で、定期接種第1期未接種の者

(イ) 第2期：小学1年生以上18歳以下の定期接種第2期未接種の者

	変更前(～令和6年3月)	変更後(令和6年4月～)
第1期	2歳から定期接種第2期の対象期間に至るまで	2歳から定期接種第2期の対象期間に至るまで
第2期	小学校1年生	小学校1年生以上18歳以下

- ③ 費用助成 各期間中に1回 全額公費負担
 ④ 実施方法 区内指定医療機関での個別接種
 ⑤ 周知方法 区のおしらせ、区ホームページ等により周知する。
 ⑥ 予算(案) 1,746千円
 ※特定財源 872千円(東京都補助金)

5 世田谷区予防接種コールセンターの開設

(1) 主旨

これまで新型コロナワクチンに関する相談はワクチンコール、その他の予防接種に関する相談は感染症対策課と問い合わせ先が分かれていたが、新型コロナワクチンが定期接種化されることをふまえ、区民の利便性向上のため、問い合わせ先を一元化し、「世田谷区予防接種コールセンター」を開設する。

(2) 事業概要

- | | |
|---------|---|
| ① 開始時期 | 令和6年4月1日 |
| ② 対象事業 | 全ての予防接種事業 |
| ③ 運用日等 | 平日 午前8時30分～午後5時15分 |
| ④ 実施方法 | 公募型プロポーザル方式により選定する委託事業者により、需要に応じた回線数を設置して電話対応業務等を行う。 |
| ⑤ 委託内容 | 予防接種に関する一般的な電話相談、予防接種健康被害に関する専門相談、FAQ作成、VOC分析等 |
| ⑥ 効果 | 窓口の一元化による利便性向上、需要に応じた回線数の設置による電話応答率向上、看護師の配置による健康被害を含めた専門相談の実施、FAQ作成による確かな区民対応、VOC分析による区民ニーズの把握等により、区民サービス向上を目指す。 |
| ⑦ 予算(案) | 77,913千円 |

6 今後のスケジュール (予定)

- | | |
|----------|---|
| 令和6年4月1日 | 帯状疱疹ワクチン費用助成の対象者拡大開始
麻しん風しん任意予防接種の対象者拡大開始
世田谷区予防接種コールセンター運用開始
区のおしらせ4月1日号記事掲載
(高齢者肺炎球菌予防接種、おたふくかぜワクチン、
帯状疱疹ワクチン、世田谷区予防接種コールセンター) |
| 4月15日 | 区のおしらせ4月15日号記事掲載
(麻しん風しん任意予防接種) |
| 7月1日 | おたふくかぜワクチン費用助成開始
区のおしらせ7月1日号記事掲載
(おたふくかぜワクチン) |